

ASK ニュース

Vol.0148

2015年4月6日(月)

担当：MS事業部 三宮

〒460-0002

名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン名古屋ビル1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

格差社会は是か非か

はじめに

先週のASKニュースでは、トマ・ピケティの「21世紀の資本」をご紹介しました。

今回のASKニュースでは、この「21世紀の資本」から議論が起こっている「格差社会」の是非を考えてみたいと思います。

お金は持つ人のところに集まる

ピケティの主張は $r > g$ という公式に集約されます。株や土地などに投資した場合の収益率が経済成長率よりも大きい、つまり、資本を持っている人はその資本を元手に投資をし、高い利回りでリターンがあるのに対し、資本を持っていない人は労働の対価で稼ぐしかなくその対価も資産の収益率より低いので永久に資本を持っている人に追いつけないという主張です。

別の言い方をすれば、資本主義社会が続く限り「格差社会」が広がり続けるという風に捉えることができます。

富裕層に対する課税強化が必要？

ピケティは、「格差社会」を是正するためには、富裕層への課税強化が必要であるという主張をしています。また、タックスヘイブンなどの税金逃れをなくすために全世界で共通の累進課税をとるべきだと提唱しています。

この提言については、私は否定的な立場をとり

ます。そもそもピケティの「格差是正」の主張は日本では、当てはまらない気がします。

日本のいわゆる「資産家」と言われる人のほとんどはピケティが主張するところの金融資産の保有ではなく土地などの不動産の保有割合が高いのです。

代々受け継いだ土地を特に運用する訳でもなく資産の組み換えなどせずそのまま放置して高い固定資産税を払ったり、相続税を払えずに売却して納税資金に充てたりしているのが現状です。

結局賢い人が儲かる

私が考えるには、資本主義社会が「格差社会」を生むのではなく、お金を増やす努力をしているかそうでないかの違いだと考えます。

お金を増やす努力をしている人は、お金を増やすために切り詰めるところは切り詰め、率先して情報を集め、人脈を広げ、どこに自分のお金を張ればより多くのリターンを生み出せるのかを常に考えそれを実践しています。

結局行き着くところ自己責任であり、それが資本主義社会なのではないでしょうか。

おわりに

最後に、一般的に投資は、長期的に見れば損もするし得もするので最終的には平均に収束されるという見方が今までの主流でした。

しかし、ピケティは、お金持ちほど金融投資に有利だと主張している点には、驚かされました。